

表. 神奈川県産チョウ類レッドデータ度一覧

科・種名	RD度	衰退原因	備考
セセリチョウ科			
ミヤマセセリ	減少H	雑木林の荒廃	三浦半島方面では絶滅
ダイミョウセセリ	健在L		◎
アオバセセリ	健在K		丘陵, 山地に生息
ギンイチモンジセセリ	減少H	生息域の草地の減少	平地の一部の生息地は喪失
×ホシチャバネセセリ	絶滅A	山地草原の狭小化	1980年以降記録なし
コチャバネセセリ	健在L		◎
ホソバセセリ	健在K		◎やや局所的
×スジグロチャバネセセリ	絶滅A	山地草原の狭小化と環境変化	1979年三国峠に生息
ヘリグロチャバネセセリ	危惧D	草原の狭小化と開発など	三国峠のみ生息確認
コキマダラセセリ	危惧D	山地草原の環境変化	今回, 箱根仙石原にて生息確認
ヒメキマダラセセリ	健在J	草原の狭小化と環境悪化	丹沢, 箱根, 津久井に生息
キマダラセセリ	健在K		◎個体数は多くない
オオチャバネセセリ	健在K		◎
チャバネセセリ	健在K		◎
ミヤマチャバネセセリ	健在I		県北を中心に河川流域にも生息
イチモンジセセリ	健在L		◎
アゲハチョウ科			
ウスバシロチョウ	健在J		足柄, 津久井, 丹沢に分布
ギフチョウ	危惧D	開発, 雑木林の荒廃と植林化	県指定の天然記念物
ホソオチョウ	人為M		川崎, 藤野に人為的分布
ジャコウアゲハ	健在K		◎
アオスジアゲハ	健在L		◎市街地にも多い
キアゲハ	健在L		◎山頂から海岸まで見られる
アゲハ	健在L		◎人家, 人里に多い
クロアゲハ	健在L		◎人家, 人里に多い
オナガアゲハ	健在K		◎山地の渓谷に多い
モンキアゲハ	健在K		◎県南地域に多い
カラスアゲハ	健在L		◎
ミヤマカラスアゲハ	健在J		平地での生息地は少ない
シロチョウ科			
ヒメシロチョウ	危惧E	開発, 生息地の悪化, 食草喪失	山北町の県境尾根に残存
キチョウ	健在L		◎
ツマグロキチョウ	危惧F	食草分布の衰退	1970年代までは全域に分布
ヤマキチョウ	危惧D	山間地への都市化波及	今回の調査で発見できず
スジボソヤマキチョウ	危惧E	山間地への都市化波及	西丹沢, 三国峠に生息
モンキチョウ	健在L		◎
ウスキシロチョウ	迷蝶M		大磯の記録あり
ツマキチョウ	健在L		◎
モンシロチョウ	健在L		◎
スジグロシロチョウ	健在L		◎
エゾスジグロシロチョウ	健在J		丹沢, 箱根, 津久井に分布
シジミチョウ科			
ムラサキシジミ	健在K		平地を中心に生息
ウラゴマダラシジミ	健在J		地域によっては激減
ウラキンシジミ	健在I		津久井, 丹沢に生息
×ムモンアカシジミ	絶滅A	?	藤野に記録あり
アカシジミ	健在K		◎ 平地の一部で激減
ウラナミアカシジミ	減少H	クヌギ林の減少, 荒廃	◎ 局所的に分布

表. 神奈川県産チョウ類レッドデータ度一覧 (2)

科・種名	RD度	衰退原因	備考
オナガシジミ	危惧D	山間地への都市化の波及	相模湖周辺だけに生息
ミズイロオナガシジミ	健在K		◎
ウスイロオナガシジミ	危惧D	カシワ林の伐採, 荒廃	津久井地方のごく一部で生息
ウラクロシジミ	健在I		藤野の一部で生息
ミドリシジミ	減少H	平地でのハンノキ林喪失	◎局所的分布
メスアカミドリシジミ	健在I		今回の調査で確認
アイノミドリシジミ			丹沢, 藤野に各1例の記録あり
ヒサマツミドリシジミ			丹沢の1例の記録あり
キリシマミドリシジミ	健在I		丹沢, 箱根のみ生息
フジミドリシジミ	健在I		丹沢山塊に生息
オオミドリシジミ	健在K		◎平地によっては激減
エゾミドリシジミ			丹沢の1例の記録あり
ハヤシミドリシジミ	危惧D	食餌植物の減少による生息環境の悪化	藤野町のみ生息
ジョウザンミドリシジミ			丹沢の1例の記録あり
トラフシジミ	健在J		◎平地では稀
カラスシジミ	健在I		今回の調査では確認できず
ミヤマカラスシジミ	危惧D		三国峠, 箱根に生息
コツバメ	減少H	開発による環境変化	平地での生息域は激減
キマダラルリツバメ	危惧D	狭域分布地での生息環境の悪化	藤野町のみ生息, 県指定天然記念物
ベニシジミ	健在L		◎
ゴイシシジミ	健在L		◎
×クロシジミ	絶滅B	開発, 雑木林の荒廃, 伐採地の激減	1980年以降記録なし
ウラナミシジミ	健在K		◎
ヤマトシジミ	健在L		◎市街地にも生息
シルビアシジミ	危惧E	海岸及び河川流域の環境悪化	横須賀市, 三浦市に残存
×ゴマシジミ	絶滅A	生息環境の喪失	1979年以降の記録無し
ルリシジミ	健在L		◎
スギタニルリシジミ	健在I		今回の調査で西丹沢にて確認
ツバメシジミ	健在L		◎
クロツバメシジミ	健在I		藤野の一部に生息
×ヒメシジミ	絶滅A	生息環境の悪化と観光開発	1950年代に箱根に生息
ミヤマシジミ	危惧E	河川流域の環境悪化	酒匂川流域の一部に残存
×アサマシジミ	絶滅B	生息環境の喪失	1970年代に絶滅
ウラギンシジミ	健在L		◎年によって増減を繰り返す
マダラチョウ科			
アサギマダラ	健在J		◎平地での生息地は少ない
カバマダラ	迷蝶M		横須賀, 茅ヶ崎に記録あり
スジグロカバマダラ	迷蝶M		逗子, 川崎, 小田原に記録あり
テングチョウ科			
テングチョウ	健在K		◎
タテハチョウ科			
ウラギンスジヒョウモン	健在I		平地では絶滅
オオウラギンスジヒョウモン	健在J		丹沢, 箱根に生息
ミドリヒョウモン	健在J		平地では激減
クモガタヒョウモン	減少H	開発, 山間地への都市化波及	平地で激減
メスグロヒョウモン	減少H	開発, 山間地への都市化波及	平地で激減
ウラギンヒョウモン	健在I		丹沢, 津久井に生息
×オオウラギンヒョウモン	絶滅C	草原の荒廃	1962年以降記録なし
ツマグロヒョウモン	迷蝶M		県南で記録あり

表. 神奈川県産チョウ類レッドデータ度一覧 (3)

科・種名	RD度	衰退原因	備考
イチモンジチョウ	健在K		◎
アサマイチモンジ	減少H	開発による生息地の環境悪化	県内に局所的に分布
コムスジ	健在L		◎
ミスジチョウ	減少H	開発による生息地の環境悪化	県内に局所的に分布
オオミスジ	危惧D	開発, 山間地への都市化波及	今回の調査で発見できず
ホシミスジ	危惧E	生息環境の喪失及び悪化	三国峠周辺に生息
サカハチチョウ	健在J		丹沢, 箱根, 津久井に生息
キタテハ	健在L		◎
シータテハ	健在I		今回の調査で西丹沢で確認
ルリタテハ	健在L		◎
キベリタテハ	迷蝶M		丹沢, 箱根, 津久井に記録される
ヒオドシチョウ	健在K		◎平地では激減
クジャクチョウ	健在I		丹沢にて確認
ヒメアカタテハ	健在K		◎
アカタテハ	健在K		◎
メスアカムラサキ	迷蝶M		県南で記録あり
リュウキュウムラサキ	迷蝶M		県南で記録あり
イワサキコノハ	迷蝶M		平塚の記録あり
スミナガシ	減少H	開発により丘陵地での減少	山地では健在
コムラサキ	減少G	開発, 河川環境の悪化	平地では絶滅
ゴマダラチョウ	健在K		◎
オオムラサキ	減少H	開発, 雑木林の荒廃	平地での生息地は壊滅的
ジャノメチョウ科			
ヒメウラナミジャノメ	健在L		◎
×ウラナミジャノメ	絶滅A		1970年代後半以降記録無し
ジャノメチョウ	減少H	平地での環境変化	◎山地では健在
ツマジロウラジャノメ	減少G	沢岸岩場のコンクリート化	丹沢に局所的に生息している
ヒメキマダラヒカゲ	健在J		丹沢, 箱根, 津久井に生息
ヒカゲチョウ	健在L		◎
クロヒカゲ	健在K	開発による丘陵地の環境悪化	山地では健在
キマダラモドキ	危惧D	生息地の環境変化	今回の調査では高指山だけで確認
サトキマダラヒカゲ	健在L		◎
ヤマキマダラヒカゲ	健在J		丹沢, 箱根, 津久井に生息
ヒメジャノメ	健在L		◎
ゴジャノメ	健在L		◎
ウスイロコノマチョウ	迷蝶M		県南でやや多く記録あり
クロコノマチョウ	健在I		相模湾岸域に近年土着

注) ×印は絶滅種を表示 ◎印は全県分布種を意味する